



市議会だより

うんなん

うん

なん

No.71
2023.7



6月定例会

大東町海潮地区須賀地内の紫陽花

補正予算可決

(補正後予算総額 320億2,320万円)

● 社会福祉施設整備事業費補助金 【新規】



看護小規模多機能型
居宅介護事業所「とちのみ」

4,115万円

● 鉄道対策事業 【拡充】



413万円

令和5年6月定例会を6月12日から28日までの17日間の会期で行いました。承認8件、条例その他9件、令和5年度補正予算5件、同意19件、報告10件、令和5年度一般会計追加補正予算1件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決・承認・同意しました。

また、議員発議1件を採択し、意見書を国会及び政府に提出しました。

令和5年度6月

一般会計
(第2号・第3号)

補正額 4億1,730万円

● 農業経営高度化支援事業補助金 【新規】



吉田地区ほ場整備

2,033万円

● 地域商業等支援事業費補助金 【拡充】



市内の空き店舗

600万円

主な一般会計補正予算（第2号）

(単位：千円)

| 事業名等 | 内 容 | 補正額 | 補正後総額 | 備考 |
|--------------------|---|--------|--------|----|
| 起業型地域おこし協力隊配置事業 | 地域の課題解決につながる起業創出を志す人材2名の活動経費。 | 5,760 | 5,760 | 新規 |
| 鉄道対策事業 | 奥出雲おろち号のラストイヤーにあわせた情報発信コンテンツ（特典商品等）の制作・配布等。 | 4,136 | 5,998 | 拡充 |
| マイナンバーカード普及推進事業 | マイナポイント付与を令和5年9月まで延長することに伴う業務委託料の増。 | 5,448 | 33,550 | 拡充 |
| 社会福祉施設整備事業費補助金 | 看護小規模多機能型居宅介護事業所「とちのみ」の改築補助金。 | 41,151 | 41,151 | 新規 |
| 出産・子育て応援給付金 | 出産・子育て応援給付金事業。 | 10,510 | 10,510 | 新規 |
| 農業経営高度化支援事業補助金 | ほ場整備事業における地元負担金軽減に対する補助金。 | 20,330 | 20,330 | 新規 |
| 地域商業等支援事業費補助金 | 地域商業等支援事業の要望増に伴う増額。 | 6,000 | 16,395 | 拡充 |
| スクールバス整備事業 | 海潮中学校統合に伴うスクールバス1台購入費用。 | 11,996 | 23,992 | 拡充 |
| 緊急校務支援員配置事業 | 令和5年4月現在で教員が不足する小学校6校に校務支援員を6名配置。 | 2,101 | 4,605 | 拡充 |
| 緊急校務支援員配置事業 | 令和5年4月現在で教員が不足する中学校3校に校務支援員を3名配置。 | 2,213 | 3,466 | 拡充 |
| スクール・サポート・スタッフ配置事業 | 教員の負担軽減を図るため、業務補助者を2名から3名に増員。 | 1,354 | 3,387 | 拡充 |
| 斐伊交流センター管理事業 | 調理室・多目的ホールのエアコン更新工事。 | 5,927 | 8,114 | 拡充 |
| 西日登交流センター管理事業 | ホール（伝承室）のエアコン更新工事。 | 8,800 | 10,724 | 拡充 |

主な一般会計補正予算（第3号）

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

(単位：千円)

| 事業名等 | 内 容 | 補正額 | 補正後総額 | 備考 |
|-----------------------|---|---------|---------|----|
| 令和5年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金 | エネルギー価格高騰による負担を軽減するための支援。一世帯当たり3万円を給付。 | 116,559 | 116,559 | 新規 |
| 高齢者福祉施設電力等価格高騰対策支援事業 | 市内介護サービス事業所等の物価高騰による経済的負担を軽減するための支援。 | 11,700 | 11,700 | 新規 |
| 障がい者福祉施設電力等価格高騰対策支援事業 | 市内障がい福祉サービス事業所等の物価高騰による経済的負担を軽減するための支援。 | 6,360 | 6,360 | 新規 |
| 児童福祉施設電力等価格高騰対策支援事業 | 市内教育・保育施設等の物価高騰による経済的負担を軽減するための支援。 | 6,541 | 6,541 | 新規 |
| 医療機関等電力等価格高騰対策支援事業 | 市内医療機関等の物価高騰による経済的負担を軽減するための支援。 | 10,950 | 10,950 | 新規 |
| 営農法人等物価高騰対策支援事業 | 4ha以上利用権設定している認定農業者等のエネルギーや農薬の物価高騰による経済的負担を軽減するための支援。 | 4,880 | 4,880 | 新規 |
| 畜産粗飼料確保緊急支援事業 | 飼料価格高騰の影響を受ける肉用繁殖牛農家の経済的負担を軽減するための支援。 | 1,398 | 1,398 | 新規 |
| 中小企業者等省エネルギー支援事業 | 市内事業者のエネルギーコスト削減等の支援。 | 10,200 | 10,200 | 新規 |

議案 審議結果

| 承認 | 採決結果 | 採決状況 |
|--|------|------|
| 令和4年度雲南市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認 ・補正額 ▲808,000千円 補正後の額 32,030,620千円 | 承認 | 全会一致 |
| 令和4年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第6号）の専決処分の承認 ・補正額 ▲137,490千円 補正後の額 4,190,497千円 | 承認 | 全会一致 |
| 令和4年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分の承認 ・補正額 ▲10,000千円 補正後の額 1,211,142千円 | 承認 | 全会一致 |
| 令和4年度雲南市農業労働災害共済事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認 ・補正額 ▲3,562千円 補正後の額 2,138千円 | 承認 | 全会一致 |

| 承認 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 令和4年度雲南市生活排水処理事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認 ・補正額 ▲10,917千円 補正後の額 1,224,101千円 | 承認 | 全会一致 |
| 令和5年度雲南市一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認 ・補正額 35,900千円 補正後の額 31,605,900千円 | 承認 | 全会一致 |
| 雲南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認 ・国民健康保険料の賦課限度額、軽減基準額及び出産育児一時金を改正するもの。 | 承認 | 全会一致 |
| 雲南市税条例等の一部を改正する条例制定の専決処分の承認 ・地方税法等の一部改正に伴い、雲南市税条例等の一部を改正するもの。 | 承認 | 全会一致 |

| 条例 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 雲南市印鑑条例の一部を改正する条例 ・電子署名等に係る地方公共団体情報システム構築の認証業務に関する法律（公的個人認証法）が一部改正され、マイナンバーカードの電子証明書機能をスマートフォンに搭載できるようになるため、コンビニ交付の申請方法として対応できるよう条例を改正するもの。 | 可決 | 全会一致 |
| 雲南市手数料徴収条例の一部を改正する条例 ・雲南市印鑑条例の一部改正により、コンビニ交付に係る手数料の規定を、スマートフォンを用いた証明書交付に対応できるよう改正するもの。 | 可決 | 全会一致 |

| 条例 | 採決結果 | 採決状況 |
|--|------|------|
| 雲南市大東町地域福祉センター条例の制定 ・指定管理者制度の運用にあたり、利用料金制度について定めるとともに、条例全体の見直しを行うもの。 | 可決 | 全会一致 |

| 一般事件 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 庁舎施設整備事業木次団地解体工事請負契約 | 可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡 ・公共施設等総合管理計画に基づき、雲南市漆仁の里交流館を無償譲渡するもの。 | 可決 | 全会一致 |
| 財産の無償譲渡 ・公共施設等総合管理計画に基づき、令和5年4月1日付けで普通財産となった旧雲南市木次町在宅生活復帰準備施設を無償譲渡するもの。 | 可決 | 全会一致 |

| 一般事件 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 財産の取得 ・市民バス58人乗り2WD 1台の購入契約を締結するもの。 | 可決 | 全会一致 |
| 財産の取得 ・小型動力ポンプ付軽積載車 4台の購入契約を締結するもの。 | 可決 | 全会一致 |
| 財産の取得 ・消防ポンプ自動車 1台の購入契約を締結するもの。 | 可決 | 全会一致 |

議案 審議結果

| 予 算 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 令和5年度雲南市一般会計補正予算 (第2号) ・補正額 248,000千円 補正後の額 31,853,900千円 | 可決 | 全会一致 |
| 令和5年度雲南市国民健康保険事業特別会計 補正予算(第1号) ・補正額 839千円 補正後の額 4,170,839千円 | 可決 | 全会一致 |
| 令和5年度雲南市生活排水処理事業特別会計 補正予算(第1号) ・補正額 10,390千円 補正後の額 1,278,390千円 | 可決 | 全会一致 |
| 令和5年度雲南市水道事業会計補正予算 (第1号) 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 ▲20,100千円 補正後の額 1,274,946千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 11,569千円 補正後の額 794,030千円 | 可決 | 全会一致 |

| 予 算 | 採決結果 | 採決状況 |
|--|------|------|
| 令和5年度雲南市下水道事業会計補正予算 (第1号) 【収益的収支】 ・下水道事業費用 補正額 ▲99千円 補正後の額 943,823千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 8千円 補正後の額 918,036千円 | 可決 | 全会一致 |
| 令和5年度雲南市一般会計補正予算 (第3号) ・補正額 169,300千円 補正後の額 32,023,200千円 | 可決 | 全会一致 |

| 同 意 | 採決結果 | 採決状況 |
|---|------|------|
| 雲南市農業委員会委員の任命につき同意を求めること 19件 ・任期満了に伴う農業委員会委員19名の任命について、議会の同意を求めるもの。 | 同意 | 全会一致 |

| 報 告 |
|--|
| 議会の委任による専決処分の報告 ・専決処分した市の義務に属する損害賠償の額を報告するもの。 |
| 幼稚園保育料に関する権利(債権)の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、放棄した幼稚園保育料に関する権利(債権)について、議会に報告するもの。 |
| 学校給食負担金に関する権利(債権)の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、放棄した学校給食負担金に関する権利(債権)について、議会に報告するもの。 |
| 水道料金に関する権利(債権)の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、放棄した水道料金に関する権利(債権)について、議会に報告するもの。 |
| 病院医療費に関する権利(債権)の放棄 ・雲南市私債権の管理に関する条例に基づき、放棄した病院医療費に関する権利(債権)について、議会に報告するもの。 |
| 令和4年度雲南市一般会計繰越明許費繰越計算書 ・地方自治法施行令により繰越計算書を調製し、議会に報告するもの。 |

| 報 告 |
|---|
| 令和4年度雲南市水道事業会計予算の繰越 ・事業の実施状況により予算繰越したものを地方公営企業法の規定により、議会に報告するもの。 |
| 令和4年度雲南市下水道事業会計予算の繰越 ・事業の実施状況により予算繰越したものを地方公営企業法の規定により、議会に報告するもの。 |
| 令和4年度雲南市病院事業会計予算の繰越 ・事業の実施状況により予算繰越したものを地方公営企業法の規定により、議会に報告するもの。 |
| 議会の委任による専決処分の報告 ・令和5年1月30日に申し立てた調停について、民事調停法による決定があったため、地方自治法の規定により、議会の議決により委任された事項について専決処分し、議会に報告するもの。 |

委員会報告

総務常任委員会報告

委員長 中村辰真

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された7件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・庁舎施設整備事業本次団地解体工事請負契約について

工事内容は、共同住宅棟2棟、集会所棟1棟、自転車置き場2棟、その他ポンプ室、ごみ置き場等解体合わせて延床面積4,496.34平方メートル。外構解体一式。

問 どのように解体するのか。

答 仮囲を行い、重機によって解体していく通常の解体である。アスベストがある部分は、水を散布し、環境に配慮しながら解体作業を行う。

問 アスベストの調査は既にしてあるとの理解で良いのか。

答 アスベスト調査はすで

で行っている。アスベストがある部分があったので、対応できる工事内容で発注した。

問 解体後は駐車場と聞いているが、泥のままで、草が繁茂し環境も悪くなる。後処理を適切に行うべきでは。

答 跡地は駐車場等として、引き続き整備工事をする予定である。

(主な予算の審査状況)

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第2号)

鉄道対策事業413万6千円は、トロッコ列車奥出雲おろち号のラストイヤーにあわせた情報発信コンテンツ2点(特典商品等)の作成経費と三刀屋高校演劇部の活動支援を通じて木次線の利用促進に向けた情報発信を行うものです。

問 カレンダー、絵本は何部ずつ作られるのか。

答 卓上カレンダー、壁

掛けカレンダーそれぞれ500部、絵本は、1,500部を考えている。

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第3号)

問 今までは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金としてあったが、コロナについての感染対策の臨時交付金はこれが最後と理解してよいのか。

答 新型コロナウイルス感染症の名前が付いているが、正式名称は電力物価高騰対策臨時交付金というメニューとして追加されている。今後の状況次第と考えている。



解体予定の木次団地

教育民生常任委員会報告

委員長 原 祐二

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された7件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市印鑑条例の一部を改正する条例について

公的個人認証法が一部改正され、マイナンバーカードの電子証明機能スマートフォンに搭載できるようにするため、コンビニ交付の申請方法として対応できるよう、条例改正するものです。

問 スマートフォンによる印鑑証明は、市役所でも対応できるのか。

答 マイナンバーカード及びスマートフォンでの印鑑証明は、コンビニ交付に限られるため、市役所では使用できない。市役所での印鑑証明には、必ず印鑑登録証が必要である。

(主な予算の審査状況)

・令和5年度雲南市一般会計補正予算(第2号)

① 母子生活支援事業120万円は、資格取得に係る訓練受講を支援するための自立支援教育訓練給付金です。

問 事業の対象人数・支援内容は。

答 看護師・保育士等の



スマホ用電子証明書申請画面
(出典：マイナポータル)

国家資格を取得しようとするひとり親1人に対し、資格を取得する期間（1年以上、最長4年未満）の生活費を支援する。

問 事業名は母子生活支援となつていますが、父子家庭も対象なら事業名を検討すべきではないか。

答 父子家庭も対象であり、事業名については今後検討する。

②緊急校務支援員配置事業431万4千円は、教員が欠員の小中学校に対して、緊急校務支援員を配置するための経費です。

問 当初予算でも配置・計上されていたが、追加を必要とするほど教員が不足しているのか。

答 当初予算で見込んでいた以上に配置が必要となった。

問 中学校は部活動に配置できないか。

答 部活動には別の制度があり、緊急校務支援員の配置はできない

・令和5年度雲南市一般会計補正予算（第3号）

住民税非課税世帯等臨時特別給付金1億1,655万9千円は、物価高騰の影響を受けている低所得世帯への給付金です。

問 令和4年度から給付金額が減っている（1世帯当たり、5万円から3万円）のは何故か。

答 給付額は、国の政策により決定されている。住民税非課税世帯以外の低所得世帯への支援は検討したのか。

産業建設常任委員会

委員長 中林 孝

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された5件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

（主な予算の審査状況）

・令和5年度一般会計補正予算（第2号）

①土木雑入（土地開発公社工務関係業務委託料）の100万円は、市が土地開発公社から受け取る委託料です。

問 この委託料は、特定の事業を念頭にした設計料か、また、その積算根

答 給付額は、国の政策により決定されている。

問 住民税非課税世帯以外の低所得世帯への支援は検討したのか。

答 住民税所得割のみ課税世帯については検討したが、地方創生臨時交付金の全体額から対象者を決定した。

拠は何か。

答 南加茂企業団地、神原企業団地等の委託料で、積算基準はなく土地開発公社との協議で決定したものである。本来は当初予算に計上すべきものであるが、協議で決まらなかったため補正計上した。

②農業経営高度化支援事業補助金2,033万円は大吉田地区のほ場整備にかかる補助金です。

問 地元負担割合は何%か、集積はどの程度か。

答 地元負担割合は7%。

5%であるが最終的には0%になる。平成27年度当初は個人経営であったが、平成29年に法人が設立され、整備後の法人集積率97・96%である。

③地域商業等支援事業費補助金600万円は小売店等の開業支援を行うもので3事業者分を予算化するものです。

問 うち1件は出雲市の事業者だが問題ないか。

答 雲南市内で事業展開されるので構わない。

・令和5年度一般会計補正予算（第3号）

営農法人等物価高騰対策支援事業488万円は、農薬等の価格高騰により影響を受ける農業法人等の負担軽減を図るもので、支援対象は4ha以上の利用権設定している農業者です。

問 4ha以上に限定したのはなぜか。

答 利用権設定している農業者は利用料を支払い耕作している、相対で契約できる受委託とは違つ

ので利用権に絞つた。4ha以上だと影響の大きい農業者をほぼカバーできる。個人農家より4ha以上の方が、痛みが大きく支援が必要だ。

・令和5年度生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

問 特殊勤務手当が設けられているが何か。

答 夜間・休日に緊急出勤した場合に支給する緊急出勤手当である。時間外手当とは異なり夜間など特別に出勤した場合に支給するもので1回につき300円である。



南加茂企業団地造成地



質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

一般質問

アルコール依存症に対する取り組みは



宇都宮 晃



問 雲南市のアルコール依存症に対する取り組みは。

答 ふたつある。ひとつは、教育・啓発の取り組みである。アルコールが心身に及ぼす影響について、発達段階に応じた正しい理解を促進し、意思決定や行動選択ができるよう、思考力、判断力、表現力等を育成するため、学習指導要領において喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為が心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因になること、これらの行為は個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを保健学習や保健体育で教育

している。もうひとつは、相談支援対応の取り組みとして、本人や家族などに対し、来所や電話による相談及び家庭訪問を行っている。

問 酒害対策としての講習の現状はどうか。

答 雲南保健所において、アルコールに関する困りごと相談を酒害相談員や家族相談員、保健師による相談日が設けられている。必要に応じて医療機関や断酒会につなぐ。

木次線対策は先送りせず取り組み



中林 孝



問 国が設ける再構築協議会を念頭に、斉藤鉄夫国交大臣は地元紙のインタビューに答え「島根では木次線について話し合いたい」と述べている。

木次線を取り巻く環境がますます厳しくなっている。木次線存続に向けた市長の覚悟を伺う。

答 木次線は通学や市民の日常生活を支える交通手段、また観光資源としても必要だ。日常利用促進のためのダイヤ改正や駅舎について要望していく。全力で取り組む。

問 再構築協議会の対策は進んでいるか。

答 制度の詳細や各地域の状況を把握しながら慎重に進める。

問 答弁は「注視する、慎重に見極める」に始終している。もっと市長は積極姿勢を示すべきだ。木次線存続に市長がどのような絵姿を描いているか、市民に示し議論を深めなければならぬ。

答 再構築協議会に関し、動く方がいいのか、動かない方がいいのか。やみくもに動いて逆に危うくなることもある。他自治体、国の議論を慎重に見極め対応したい。

使用禁止体育館の代替施設は



鶴原 能也



問 大東体育文化センター、木次体育館、掛合体育館の耐震診断の結果は。

答 大東体育文化センターは、耐震診断が不可能で、耐震補強も不可能。木次体育館と掛合体育館は、地震により倒壊する危険性がある。

問 今回、大変危険な施設が長期間、市民の皆さんに利用されていた事実が判明したが感想は。

答 診断結果は、想定以上に深刻なもので、利用者、市民の皆様には本当に申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。

問 使用禁止となった体育館の代替施設は。

答 町内の小・中学校等の体育館を代替施設として提案している。今後、移動距離等考慮し、希望に沿った形で使用してもらえよう対応したい。

問 昨年秋の全共での好成績が市場価格に反映されず厳しい経営状況が続いているが要因と対策は。

答 肥育にかかる生産コストの上昇、枝肉の市場価格の低迷などが考えられる。県内外へのふるさと納税、広島でのPR活動などを考えている。



耐震補強が不可能な大東体育文化センター



一般質問

入園希望園児は
全て受入れを



梶谷 佳平



問 入園希望園児は全て受入れは可能か。

答 現時点では難しい。入園状況で「×」が付いていても、多少の受入れはできる場合があるので、園に相談してほしい。

問 各園の開所・閉所時間、遠方勤務の保護者には負担。更なる延長を。

答 朝7時から19時半まで預かっているが、更なる受入れ延長は保護者・事業者のニーズを聞きながら対応したい。

問 市に入金する手数料や各種税金等のキャッシュレス対応を望む。

答 キャッシュレス用システム変更は令和7年度に行う。固定資産税や軽自動車税は令和5年度から通知書記載のQRコー

ドで口座振込を可能にした。

問 キャンプ場や公園等の暖房便座等の整備体制は。

答 暖房便座等の普及率は10%台。要望を聞き、改善を進める。

問 キャンプ場や公園等の倒木落枝等の管理は。

答 指定管理者や委託業者に管理を委託している。状況によっては市が倒木処理を行う。

交流センターの
認識と要望状況は



佐藤 隆司



問 協働のまちづくり活動の拠点(交流センター)の認識と地域要望は。

答 協働のまちづくりを進めるためには、市民の皆様が主体的にまちづくりや地域づくりに参画で



幡屋交流センター

きる環境が必要なため、交流センターは地域組織の皆さんの活動拠点だ。要望状況は、現在協議中の幡屋地区、民谷地区と他4地区から要望がある。

問 市内30の交流センターの内、整備済みが16カ所、未整備が14カ所あるが、今後の建替えや改修の方針と計画は。

答 「交流センター施設整備計画」に基づいて、優先度の高い施設から順次整備をしている。5つの基本的な基準と7項目

の整備方針を設け、客観的な判断基準により優先度を判定し実施する。

問 厳しく英断をもって選択と集中により、次年度以降の実施計画は交流センターの整備事業に力を入れた計画となるよう大きな見直しが必要だ。

答 老朽化が激しい文化体育施設や学校教育施設、緊急性のあるごみ処理施設など多数あり、財政運営に影響しないよう進める必要がある。

健康保険証廃止
ではなく存続を



上代 和美



問 今国会で現行の健康保険証を2024年に廃止し、マイナンバーカードに一体化する法案が自民、公明、維新、国民4党の賛成で可決成立した。

国民の信頼を裏切るような問題が噴出している。カードを作っていない

方や作ってもオンライン資格確認に同意しない方は保険証の代わりに資格確認書を申請しなければならぬ。申請となれば申請漏れが生じ、窓口で10割負担が発生する。国民皆保険制度が崩れることを危惧するが、見解は。

答 保険料を納めている方が保険診療を受けることは当然の権利。資格確認書の申請自体は制度に不相当とは言えない。

問 今までの健康保険証で何ら支障がなかった高齢者や障がい者にとって、健康保険証のマイナンバーカード一体化は非常に不便なものになる。健康保険証の廃止ではなく、これまでどおり使えるようにすべきではないか。

答 一般の制度改正は医療分野のDXにより、利便性向上の必要があると認識している。丁寧に周知していく。



一般質問

魅力あふれる雲南市に向かつて



上代 純子



問 人材派遣型企業版ふるさと納税を活用して「人口の社会増」へ挑戦してもらおう人材の確保は考えられないか。

答 自治体は人件費負担なく、人材が活用でき地方創生を進めることができ制度だ。推進したい。

問 市内に空き家を所有し、管理状態を不安視する市外在住者に対し、ふるさと納税によって点検や見回りをする制度の拡充は考えられないか。

答 大変有効な取り組みであるので、拡充に向けて検討したい。

問 三刀屋高校の寮は古く、大東高校には寮がない。掛合分校の男子寮の新たな設置や市有施設を活用し、教員の負担も考

慮しながら、高校の魅力化に取り組みべきでは。

答 三刀屋高校の寮は、令和5年度から7年度に大規模改修の予定だ。大東高校の寮については、高校と実現方法を検討中。掛合分校の女子寮は大規模改修済で、県は新たな整備は行わない意向のため、男子寮整備は難しく教員の負担も課題である。市有施設活用は、有効と捉え今後検討していく。

市長・議員 同日選挙を問う



原 祐二



問 令和6年度に実施する市長・市議会議員選挙について、同日選挙の可否と行財政運営におけるメリット・デメリット等を問う。

答 公職選挙法の規定で

は、令和6年12月11日から令和7年1月16日の間なら同日選挙はできる。

メリットは、選挙執行に係る経費約1,800万円程度の削減、有権者の負担軽減、事務手続きの簡素化が考えられる。デメリットは、市議会議員の選挙が任期満了以降となるため、当選が確定するまで市議会議員がない空白期間ができること。議会定例会・臨時会の開催について調整が必要となる。

必要となる。

問 市政への積極的な参加・投票率の向上には、市政情報の発信が重要だが、行政情報（有線放送）を誰もが受け取れる環境整備として、狭山市などが行う、行政情報をフリーダイヤルで聞けるサービス・システムを提案する。

答 効果ある市民への情報提供の方法は、提案された狭山市の例を含め調査し、新たな方法も考えたい。

大出日山風力発電 事業を考える



多賀法華



問 これは、市の事業か。ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社の民間事業である。

問 健康被害はどうか。

答 風力発電の音による健康被害には、様々な意見がある。現時点では医学的に因果関係が証明されていない。今後の医学界での議論を待つ。

問 鳥への影響は。

答 鳥類への影響を回避、極力低減するよう、JRE社に求めている。

問 田や虫への影響は。

答 貴重な水生生物や動植物、農業への影響について、大変心配している。

十分な調査や専門家の助言、適切な対策について説明を求めている。

問 獣害については。



山王寺の柵田から望む大出日山

答 風力発電と獣害の因果関係の証明は難しく、事業者へ対策を求めることは難しい。市としては現在取り組んでいる獣被害対策を適切に行いたい。

問 国・県・市の責任は。

答 環境影響評価をクリアしても、国・県・市が責任を負うものではない。

問 市議会との勉強会は。

答 詳細が分かれば必要に応じて、市議会と一緒に勉強していきたい。



一般質問

市立病院の使命と
役割を問う



細田 実



問 市立病院は雲南圏域の中核病院としてどのような使命・役割を担って行くのか。

答 雲南二次医療圏の中心として、住民の命と健康を守る考えだ。二次医療圏として最新かつ高度な医療技術の提供を目指す。

また、高齢化や独居高齢者、老々介護など地域特有の事情や医療ニーズにも幅広く応えるべく在宅部門の機能充実、医師会との連携強化など臨機応変に対応する。

一次医療機関や介護・福祉施設、さらには住民団体などの連携を強化し地域包括医療・ケアの中心的役割りを担うべく貢献していく。

問 今年度から新棟建設資金の返済も始まり経営も厳しくなるがどう対処するか。

答 コロナ対応を積極的に行った結果、2年連続の黒字経営が見込まれる。しかし、人口減少もあり収益性の向上が課題だ。松江・出雲の高次医療機関病院との連携、医師会との連携、包括支払い制度導入などで経営基盤の安定化に努める。

水環境保全の
対策強化を



児玉 幸久



問 市内において民間が行う風力発電の建設計画があるが、水環境保全の観点からどのような懸念を抱いているか。

答 工事に伴う土地の形状変更などによる濁水の

発生や水量の減少など、水環境への影響を強く懸念している。

問 水環境の保全に向け、雲南市独自の条例や計画の策定などの取り組みを進めるべきではないか。

答 森林法に基づく保安林制度がある。現行法制度上、不足する部分があるのであれば検討も必要であるが、現時点では、現行の法令等を活用する中で十分に保護の動きができるかと認識している。

問 市民バス・タクシー優待乗車券について、デジタル化を進めるべきではないか。

答 他自治体での事例も参考にしながら、利用者や事業者の意見も聞き研究していく。

問 指定管理者制度の人員費の積算において、賃金水準スライド制を導入すべきではないか。

答 まだ、全国的にも導入事例は少ないが、調査研究を進めていく。

危険空き家の
対策を



安田 栄太



問 大東町内に倒壊しそうな危険な空き家がある。早急に解体すべきだが、市は空き家の管理者に対してどのような対応をしているのか。

答 空き家の適正な管理は所有者の責務であり、市は条例に基づき関係者に改善依頼の文書を定期的に送付している。現在、連絡が取れる状態では、色々な情報を聞いている。

問 空き家の状態を定期的に確認しているのか。

答 定期的に現地の状況確認をしながら必要な対策をとっている。

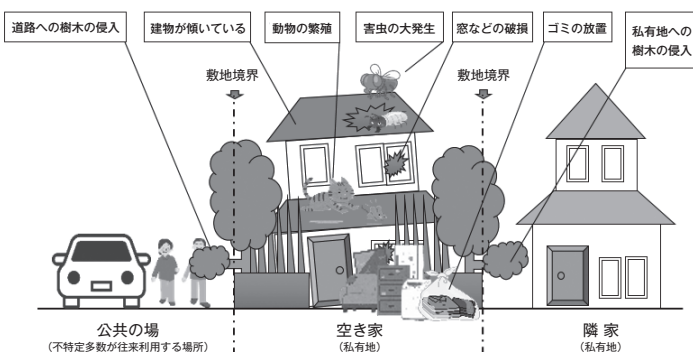
問 大東町内に大規模なサギの営巣地帯がある。周辺住民に臭い等の生活被害が出ており、対応を求める声があるが、市の

見解は。

答 以前から相談や苦情を受けている。コウノトリの誤射事案以来、サギの駆除は行っていないため、追い払う方法で対応したい。

問 銃器を使った駆除を再開する考えはないのか。

答 当面は考えていない。特に大東町内はコウノトリの営巣地なので、市民の理解を得難いと考ええる。



危険な空き家のイメージ



一般質問

日常利用の促進策
になっっているか



周藤 正志



問 車両にラッピングを施したり、利用者への助成やイベント実施など木次線利用促進のさまざまな取り組みがなされているが、利用者数や輸送密度の目標はあるのか。

答 利用者数は年間9,700人の目標を設定している。輸送密度は、JRの算定方法が公表されていないことから目標を設定していない。

問 木次線の利用者数はざっと20万人で、その内訳は通学が7割、通勤が1割で、日常利用が8割を占めているとのことだが、現在の取り組みは、日常利用の促進策となっているか。

答 利用促進策は、日常利用を増やすことと

ロココ列車ラストランをその後の観光利用に生かすことだと考えている。日常利用の促進策は、まだ不十分な点があり、今後力を入れていく。

問 木次中学校は、学校施設整備保全計画で令和8年頃整備となっているが、どう考えているか。

答 今年度と来年度で基本構想と基本計画を行い、令和9年度の新校舎完成を目指している。

手話言語条例の
制定を



中村 辰眞



ことで手話の普及促進につながるかと考えるが、市長の見解を伺う。

答 手話は、聴覚障がい者にとって意思疎通を図るコミュニケーションの一つである。本市は、条例こそないものの手話は言語であるという位置づけを明確にする中で、手話通訳者の設置・派遣、手話奉仕者の養成など、手話の普及啓発に努めている。

問 県内では2017年に出雲市が出雲市手話の普及の推進に関する条例を2020年に益田市で益田市手話言語条例が制定されている。本市でも手話を言語と位置づける

答 保険の導入を検討したが、公費で掛金を負担することは、他の制度とのバランス上、難しい。

問 総社市では、SOSネットワークと同様の取り組みがされている。違う点は、認知症高齢者等損害保険制度とのパッケージ化である。認知症を起因とする徘徊で事故が発生したとき、損害賠償が発生する。額が大きいと生活環境も一変する。補償制度導入を切に望むが見解はどうか。

答 保険の導入を検討したが、公費で掛金を負担することは、他の制度とのバランス上、難しい。

故 足立昭二 議員
追悼



足立昭二議員におかれては、本年6月1日、御逝去されました。

同氏は、平成11年に大東町議会議員に初当選以来、平成16年11月から雲南市議会議員、平成23年5月からは島根県議会議員を務められました。そして令和2年11月、再び雲南市議会議員に当選され御活躍中でありましたが、その任期半ばでの御不幸でありました。雲南市議会においては、島根原子力発電対策特別委員会委員長、決算審査特別委員会委員長などを歴任され、雲南市の発展に向けて多大な御尽力を頂きました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

議 員 発 議

地方財政の充実・強化を求める意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう、医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められています。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求めます。

1. 社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を含めた、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
2. とりわけ、今後一層求められる子育て対策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけて、より抜本的な改善を行うこと。
4. 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて、より恒久的な財源とすること。
6. デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。
7. 森林環境譲与税の譲与基準については、地方団体と協議を行い、森林資源の多い地方自治体への譲与額を増大させるよう見直すこと。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年6月28日

鳥根県雲南市議会

提出先

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣

議員表彰

永年の地方自治の発展に貢献した功績により、次の議員が表彰を受けました。

○全国市議会議長会 議員一般表彰

(議員10年以上)

矢 壁 正 弘
白 築 俊 幸
原 祐 二
松 林 孝 之

感謝状

(社会文教委員会委員)

佐 藤 隆 司
矢 壁 正 弘

○中国市議会議長会 議員特別表彰

(議員32年以上)

細 田 実

コロナ禍で中止していましたが、市民の皆様から声を直接お聞きする「議会と語る会」を市内各地域で4年ぶりに開催しました。

今回は、4月28日～5月18日、市内5会場で開催し98名の参加がありました。多数の意見を頂きましたので、その一部を会場別に紹介します。

（大東会場）

- 国の農業施策は認定農業者などが主な支援の対象となつているが、それに該当しない者への補助も考えてほしい。
- 地方交通問題で国から再構築協議会での方針が出された。マイナスイメージで捉えるのではなく住民の意見を反映させる地域おこしのひとつの手段となりうると認識すべきである。意見を出し合い、より価値のある交流として再生していくチャンスである。

- 新庄団地が完成した。以前、今後大きな団地は造成せずに各町に10戸程度の団地を整備するという話であったが、方針に変更はないのか。

（加茂会場）

- まちづくり協議会に補助金を渡しておき、里山再生活動をする人に手間賃、ガソリン代などを補助してはどうか。農家でない人も活動に参加するのではないか。
- ICT化は喫緊の課題だ。若い世代にはキヤッシュレス決済が浸透しているの、公共施設や貸館利用もそのような支払い方ができるよう率先してやってほしい。
- 加茂町は大雨が降ると地形的な問題で内水排除ができないため、逃げるしかない。避難所の資料の充実を図ってほしい。

（木次会場）

- 木次駅前の活性化について、空き家を活用してほしい。木次町民体育館前の機関車を駅前に移設し、駅前を盛り上げてほしい。
- 介護予防事業について様々な事業所がやっており、一貫性を持つてやってほしい。地域自主組織に沿った指導をしてほしい。

- 自治会の半分が空き家だ。地域の安全を確保するために、地域防災の視点からも危険な空き家の撤去の補助金の新設等も検討してほしい。

（三万屋会場）

- 災害の復旧・防止工事等は進んでいるが、農地等が残っている。家の周りが崩れることを心配している人が多く、市役所に話をしてもそれに対応できる施策がないと言われる。不安を抱える人た

ちのために何らかの施策を考えてほしい。

- 消防団報酬が改定されたが、上げる率が少ないと思う。消防団は地域の活力だと思つているので、商店や企業からも地元の消防団へ入団してもらえよう支援してほしい。
- 家の周辺にクマが出没している。鳥根県はクマを保護動物としているが本当に保護が必要か。ある程度駆除してほしい。

（吉田・掛合会場）

- 空き家改修事業は、一件30万円とのことだが、改修には多くの費用がかかるのに、補助額があまりにも少ない。子育て世帯のUターンを呼びたいが、この補助額では足りない。市一律の補助額ではなく、田井などの周辺部に対しては補助額を上げることはできないか。
- 市道の草刈りについて、刈った草が片づけされて

おらず、刈った草が側溝に入り、詰まらせてしまふ。県道のように片付けまでしてほしい。

- 田井、吉田は子育て支援センターも児童クラブもない状態であったが令和3年度から夏休みの居場所を独自で開催した。しかし5時までしか開所できない。5時以降は田井保育所で見てもらえるよう校長から市役所をお願いしてもらったが、できないと言われた。謝金を払つても、5時から6時まで見てくれる人を探すしかないのかと思つている。



木次会場の様子

【さくらおろち湖】

お花見レガッタ出場

5月14日(日)に、尾原ダム・さくらおろち湖にて「第11回さくらおろち湖お花見レガッタ」が開催され、市議会から2チームが参加しました。男子、女子、ミックス、シニアなど5部門に分かれて30チームが参加し、総勢150人が集まり激戦を繰り広げました。

3期生議員で組んだ「雲南市議会2012」チームは、シニアの部に出場しました。初戦で敗れ、迎えた敗者復活戦では、大健闘のすえ敗退しました。

1期生議員で組んだ「雲南市議会2020」チームは、男女混合のチームでしたが、雲南市はチャレンジのまちと言うことで、雲南男子の部にチャレンジしました。ライバルは若手揃いの「雲南消防本部」チーム。気合十分でポイントに乗り込み、200メートル先のスタート地点まで漕いだところでスタミナを使い切ってしまった、スタートから大きく出遅れて敗退。チャレンジ終了となりました。

2チームとも敗退はしましたが、広いさくらおろち湖でボートを浮かべるのは何とも気持ちのいいものでした。

参加チームがコロナ前の6割程度しかいませんでしたが、これから徐々に増えてきて、この大会が益々賑やかになることを期待しています。



雲南市議会 2020 チーム



雲南市議会 2012 チーム

請願・陳情の提出について

9月定例会の請願・陳情は9月1日(金)17時まで、議会事務局へ直接提出して下さい。

上記の受付期間を過ぎた請願・陳情は、12月定例会での審査となります。

編集後記

雲南市は人口減少対策を最重要課題として色々な定住対策事業に取り組んでいます。その中で子育て世帯を呼び込むため、良質で住みよい住宅団地の造成を雲南市土地開発公社が雲南市と連携して推進しており、市民の皆様から、人口減少対策に役立ててほしいとの思いから先祖伝来の大切な土地を提供する旨の申し出が各地域から出ております。この思いには大変感謝を申し上げます。そして令和5年6月7日(水)大東町で新庄住宅団地造成工事が執り行われました。この団地は、平成29年4月大東地域自主振興会より定住対策として住宅団地の整備要望が出され、約6年の歳月をかけて造成を行い、この度20区画が完成したところです。安価で良質な住宅団地の提供を目指し、コスト削減に努めた結果、分譲価格を23,000円/m²とすることができました。今後も雲南市土地開発公社と市の連携により、良質な住宅団地の提供に努めてもらいたいと思います。

議会広報広聴 特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 安田 栄太 |
| 副委員長 | 上代 純子 |
| 委員 | 児玉 幸久 |
| | 鶴原 能也 |
| | 梶谷 佳平 |
| | 宇都宮 晃 |
| | 藤原 信宏 |
| | 白築 俊幸 |

◆発行：雲南市議会 ◆編集：議会広報広聴特別委員会 ◆住所：島根県雲南市木次町里方521-1

雲南市議会事務局

電話：(0854) 40-1004 FAX：(0854) 40-1009 MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp